

つながろう すべてを越えて ~その時 あなたは どう動く?!~

岸和田市立産業高等学校
デザインシステム科

〔デザインシステム科2年生
文化祭ファッションショー〕

城北地区市民協議会

〔城北地区避難訓練
~中学生と避難訓練~〕

岸和田市立北中学校
生徒会

〔サービスラーニングを
取り入れた防災学習〕



開催日時：平成31年1月26日(土) 13時30分~15時30分

開催場所：市立産業会館(別所町3丁目 13-26)

主催：岸和田市・岸和田市教育委員会

企画・運営：岸和田市生涯学習推進本部

目 次

1. 開催要項	-----	2
2. 開会のことば	-----	3
3. 主催者あいさつ	-----	4
4. 活動発表		
・岸和田市立産業高等学校デザインシステム科	-----	5
・城北地区市民協議会	-----	11
・岸和田市立北中学校生徒会	-----	23
5. 茶話会～閉会	-----	33
6. アンケート集計	-----	34
7. 「いきいき市民のつどい」チラシ	-----	38

開催要項

- 1 開催趣旨 生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設置された生涯学習推進本部。みなさんと生涯学習について考え、連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざす学習と交流の場として、毎年「いきいき市民のつどい」を企画・運営しています。
- 2 全体テーマ 「つながろう すべてを越えて
～その時 あなたは どう動く?!～」
- 3 内容 台風 21 号による災害対応事例を通して、「あなたなら、どう動くか」、交流の場で語り合ひましょう。産業高等学校の発表を兼ねたオープニング、地域住民と中学生が共に学ぶ「防災活動」を発表します。
今こそ、みんなで学び、次につなげる機会にしませんか。
- 4 主催 岸和田市・岸和田市教育委員会
- 5 企画・運営 岸和田市生涯学習推進本部
- 6 開催日 平成 31 年 1 月 26 日（土）午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
- 7 会場 市立産業会館（別所町 3 丁目 13-26）
- 8 参加対象者 興味のある方
- 9 参加費 無料
- 10 活動発表
- ・岸和田市立産業高等学校デザインシステム科
もりぐち ゆうせい そのだ こうき
森口 優勢 さん、園田 浩輝 さん、
きだ しんぼ たけたに さつき
木田 真羽 さん、竹谷 颯樹 さん
 - ・城北地区市民協議会
おざき としこ こばやし たく
尾崎 敏子 さん、小林 琢 さん
 - ・岸和田市立北中学校生徒会
おかの きょう みなみ ほのか さだの さあや
岡野 響 さん、南 穂香 さん、定野 紗采 さん
 - ・司会 岸和田市生涯学習推進本部委員
こみなみ
小南 ひとみ さん
- 11 茶話会 1 グループ約 6 人に分かれて語り合う
- 12 スケジュール 13:00 13:30 13:45 14:50 15:25 15:30

受付	開会 行事	活動発表	茶話会	閉会 行事
----	----------	------	-----	----------

開会のことば

皆さんこんにちは。岸和田市生涯学習推進本部の岡野です。

今日は寒い中、このようにたくさんご参加いただき、ありがとうございます。

生涯学習推進本部というのは、若者から年配の方、岸和田市で住んでいる方、また、勤められている方、いろいろな年代を越えたすべての人たちが生涯学習について学んでいただき、この町に本当に住んで良かったといえる岸和田市にしようではないかという企画運営をするところです。

このいきいき市民のつどいは、今年で21回目です。

今まで、どうしても年配の方の参加が多く、もう少し若い人にも参加してもらいたいと、推進本部の委員の方々から意見が出されました。

その中で、昨年度は、久米田高校のダンス部、岸和田市青年団協議会の若い人たち、子育てで一生懸命の若いお母さんなど、若い人を中心に発表していただきました。参加された高校生や青年団協議会の皆さんと茶話会をし、従来とは違った形のつどいできたと思っています。

今年度も昨年に引き続き、若い人も参加できるつどいにしたいという意見があり、産業高校デザインシステム科の2年生には文化祭で行ったファッションショーの一部の発表と、北中学校の生徒会には防災についての学習内容を発表していただきます。

さらには、皆さんご存知のように、昨年9月4日台風21号が岸和田に甚大な被害をもたらしました。そんな中で、この台風に備えて、あるいは台風の後、どんな動きをされたのか、その活動報告を城北地区市民協議会防災部会の人に報告していただきます。

この内容が皆さんにとって、今後、自分らはこういう動きをすればいいんだとだけ思っていたら、少しでもプラスになれば幸いです。

最後になりましたが、このつどいが皆さんの力で成功することを願って、開会の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。



岸和田市生涯学習推進本部

おかの てるあき

委員長 岡野 輝秋

主催者あいさつ

皆さんこんにちは。岸和田市長の永野です。

本日は、「いきいき市民のつどい」を開催させていただいたところ、このようにたくさんの方々にお越しいただき、感謝申し上げます。

このつどいは 21 回目の開催を迎えることができました。長きに渡り、市民の皆さま方にお支えいただいております。ありがとうございます。

また、岡野委員長をはじめ、推進本部委員の皆さんには多大なご協力をいただいております。心から感謝申し上げます。

今回のテーマ「その時あなたはどう動く?!」ですが、皆さんにいろいろと考えていただく多様な機会を作らせていただいていると思っています。

昨年台風が非常に猛威をふるいましたが、今年、平成の時代が終わろうとしています。

平成 30 年の時代というのは、災害の時代であったと思うわけです。

平成の締めくくりの時期に、みんなで災害について学び、人々の生命と財産をみんなで守っていくにはどうしたらいいかを考えるのには、非常に大切な時期です。

そのような中、このテーマを掲げ、本日はみんなで共に考え、共に学ぼうと、つどっていただきました。

皆さんにはこの機会を活かしていただき、これからの生涯学習、地域防災について考える良いきっかけにさせていただくようお願いします。

結びに、本日ご参会の皆さまの素晴らしい機会になりますよう、祈念して挨拶とさせていただきます。



ながの こうへい
岸和田市長 永野 耕平

岸和田市立産業高等学校デザインシステム科

デザインシステム科2年生 文化祭ファッションショー

産業高校は、創立111周年を迎えた、商業科、情報科、デザインシステム科の3科からなる全国でも数少ない商工併設校です。

デザインシステム科では、幅広い産業デザイン業界で活躍できる人材を育成するため、1年生でデッサンや色彩構成などデザインの基礎を学び、2年生からデザイン領域を4分野（プロダクト、スペース、テキスタイル、ビジュアル）に絞り、段階的に選択し学びを深めます。

2年生の文化祭では、これまでの学びを形にするため、クラス発表という位置づけでファッションショーを行っています。代表者をはじめ役割分担が全員にあり、企画立案、舞台演出、衣装制作、モデル等すべて生徒が中心となって作り上げていきます。衣装展示や文化祭の様子を一部発表します。



発表者（左から）

そのだ	こうき	
園田	浩輝	さん
もりぐち	ゆうせい	
森口	優勢	さん
きだ	しんぼ	
木田	真羽	さん
たけたに	さつき	
竹谷	颯樹	さん



岸和田市立産業高等学校

創立111年目の伝統校

商業科 4クラス(160名)

情報科 2クラス(80名)

デザインシステム科 1クラス(40名)

全国的にも数少ない商工併設校



産業高校は、創立 111 周年を迎えた、商業科、情報科、デザインシステム科の 3 科からなる全国でも数少ない商工併設校です。

デザインシステム科

デザインとは

便利で快適な空間づくりをするために形づくること。

人の生活と心を豊かにするもの

プロダクト分野

スペース分野

テキスタイル分野

ビジュアル分野

デザインとは、便利で快適な空間づくりをするために形づくることを指し、人の生活と心を豊かにするものであることが求められます。

デザインシステム科では、プロダクト分野・スペース分野・テキスタイル分野・ビジュアル分野の 4 分野に絞り、段階的に選択、学習しています。

デザインシステム科

3年次

2分野から1分野を選択

専門性を深化→社会に貢献できる人材

2年次

4分野から2分野を選択

専門知識・技術を習得

1年次

デザイン全般

幅広い知識・技術を習得



1年次、デザイン全般に関する幅広い知識・技術を習得します。

2年次、4分野から2分野を選択、専門性のある知識・技術を習得します。

3年次、2分野から1分野を選択、高度な作品制作を通じて専門性を深化させ、自ら課題を見つけ「ものづくり」一連のプロセスを経験することで、創造的な能力と実践的な態度を身に付け、社会に貢献できる人材となれるよう鍛錬します。

デザインシステム科

プロダクト分野

生活道具のデザイン



テキスタイル分野

生地・織物のデザイン



スペース分野

生活空間のデザイン



ビジュアル分野

情報伝達のデザイン



プロダクト分野では、生活するために必要な道具のデザインを学び、木材・陶芸・樹脂などの材料を用いて制作をします。スペース分野では、生活空間のデザインを学び、平面図・立面図などの図面や模型を制作し具現化させます。テキスタイル分野では、生地、織物を用いたデザインを学び、織物・染色・縫製技術を習得し、制作を行います。ビジュアル分野では情報伝達のデザインを学び、Mac を用いてポスター・広告・映像制作の技術を習得します。

1. 文化祭で何するの？

7月上旬のHRで

【文化祭何する？】アンケートを実施

ファッションショー

デザインの基礎を学び、各分野の学習を始めたばかりの私たち2年生は、7月の初旬のホームルームで意思確認をして、ファッションショーを行うことを決めました。

2. 代表・役割分担



まずは代表を決めることから始めました。代表に立候補したのは、木田真羽さんと竹谷颯樹さん、副代表には園田浩輝さんが立候補しました。そして、音響・映像・舞台・照明・広告係のリーダー、クラス1人ひとりの役割を決めました。

3. テーマ

ファッションショーのテーマを募集

- ・Orange
- ・Bond
- ・ステラ
- ・わ(和・環)
- ・パレット
- ・愛服流魅

次に取り組んだのはテーマ決めです。

Orange：切り分けたオレンジの片割れ。全員団結。
Bond：絆。接着剤のボンドもここからきている。
ステラ：ラテン語で「星」。リーダーを軸として1人ひとりが輝ける場をつくることができれば。
わ(和・環)：人のつながり。
パレット：たくさんの色(個性)がある。
愛服流魅：これまでと違う漢字だけで思いを伝えたい。以上のテーマが候補に挙がりました。

4. ロゴ

クラスで話し合い、平成30年度ファッションショーのテーマは「愛服流魅」に決定しました。読み方は無く、「愛した服を流れるように魅せる」の当て字です。

テーマが決定したので、ロゴのデザインに取り掛かりました。泉真子さんのデザインが採用されました。

5. ファッション画



次にファッション画の制作です。

提出されたファッション画をチェックし、出演順を決めました。

夏休み中、学校の施設を利用して各係で準備できるように計画し、活動しました。

全員がそろう日は設定せず、各係のリーダーが1週間に1回集まって代表会議を行うことで、意見を出し合い、準備を進めていきました。

6. 広告係①ポスター



各係の仕事を見ていただきます。

まずは広告係。

ポスターのデザインです。4種類のデザインで制作しました。

6. 広告係②パンフレット



当日配布のパンフレットも用意しました。三つ折りにして配布することを決め、デザインを決めました。

7. ①映像係(注意アナウンス動画)



次に映像係です。

SNS 利用者増で、マナー違反者も増えてしまったので、皆が気持ちよく過ごせるよう、開場後から開演前まで注意喚起動画を流すことにしました。

注意喚起動画

(♪～動画)

7. ②映像係(オープニング)



次に、オープニング映像です。

(♪～動画)

7. ③映像係(エンディング)



次に、エンディング映像です。

(♪～動画)

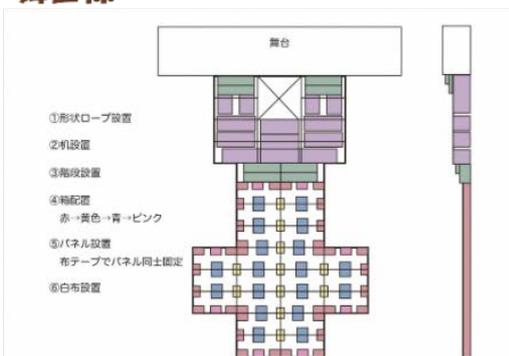
iMovie という Mac の動画編集ソフトと iPhone、デジタルカメラを駆使して作り上げました。文化祭当日はライブ映像を iPad で撮影し、スクリーンに投影しました。

8. 音響係



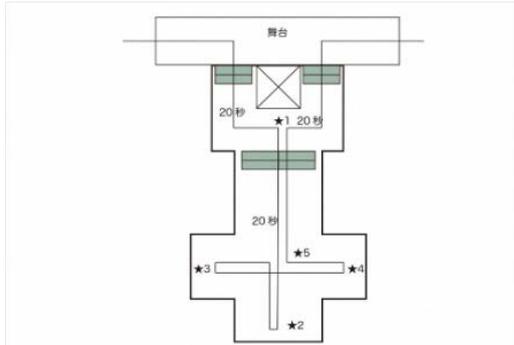
音響係は、Garage Band という Mac の音楽編集ソフトを駆使し、編集点がわからないように曲を切り貼りして、1人2分程度のBGMに仕立てました。提出してもらった CD 音源は、曲ごとに録音レベルが違うので音量を調整することに苦慮しました。ファッションショー当日は iPad とミキサーを用いて音源の操作を行ったのですが、緊張から予定より早く戻って来てしまう生徒が多く、気が抜けませんでした。

9. 舞台係



舞台係は、土台となる机・箱・パネルをパズルのように組み立てて舞台形状を描いていきます。先輩のアドバイスを元に、ポージング箇所を分かりやすく設け、十字の舞台にすることにしました。

10. 照明係



照明係は、舞台が組みあがらない限り練習ができないため、前日と当日朝のリハーサルで対応しなければなりません。事前に出演者にウォーキングルートを出してもらい、当日に備えました。

11. ファッションショーダイジェスト



こうやって各係で仕事の分担を行い、時間をかけて作り上げていきました。

今回の発表のため、1時間のショーを約8分にまとめてきました。データ変換を行ったため映像が荒くなってしまい、一部お見苦しい部分もありますが、ご覧ください。

(♪～動画)

ファッションショーをすると決めてからの約4か月間は、情報伝達の難しさを痛感し、先輩方がされていた方法とは違う形でショーを行うことに批判も受け、正直、悔しい思いをすることの方が多かったです。前日リハーサルでは先輩方から痛烈なダメ出しをもらい、厳しいことを言わせてしまったことに落ち込みもしました。でも40人全員でファッションショーを作り上げることができた今は、どこかすっきりしています。椅子を四百脚用意したにも関わらず、立見の方が出るほど沢山の方々に見に来ていただきました。それだけ関心を持ってもらっていることに喜びも覚えました。悔しい思いも含めて、普段の授業だけでは気付けないこと、学べないことを沢山学べた4か月でした。学んだ事全てを今後のデザイン活動に繋げていきたいと思えます。

城北地区市民協議会

城北地区避難訓練 ～中学生と避難訓練～

城北地区市民協議会では、北中学校の生徒と一緒に避難訓練を行い、自分の命は自分で守る『自助』の気持ちを持って取り組んでいます。毎年趣向を凝らした避難訓練で防災への意識を高め、いざというときに動けるような体制の構築をめざし活動しています。



発表者

こばやし たく さん
小林 琢 さん

おざき としこ さん
尾崎 敏子 さん



城北地区避難訓練

～中学生と避難訓練～

2019.1.26

小林さん:城北地区市民協議会防災部会の会長をしています私と、事務局の尾崎さんと2人で発表します。発表は1部と2部に分かれています。1部は昨年までの避難訓練の実績報告です。2部は今年3月に向けての避難訓練の内容を中心に、台風の対応策などを踏まえて発表させていただきます。最後までよろしくお願いします。

【NO.1】

第1部

城北地区における避難訓練の実績

【NO.2】

岸和田地図



城北校区

城北校区

- ・春木旭町 (1,501世帯)
- ・吉井町 (1,562世帯)
- ・旭府宮住宅 (286世帯)
- ・春ヶ丘団地 (254世帯)
- ・ビレッジハウス (110世帯)

尾崎さん:これは岸和田市の地図です。この斜線部が城北校区です。春木旭町、吉井町、旭府宮住宅、春ヶ丘団地、ビレッジハウスの5町で形成されています。

【NO.3】

城北校区 防災の取り組み

- ▶ 平成23年11月26日 阪神・淡路大震災に学ぶ 講演会
- ▶ 平成24年3月11日 地震・津波から命を守る (大阪管区気象台) 講演会
- ▶ 平成24年4月1日 城北地区市民協議会防災部会 立ち上げ
- ▶ 平成24年6月3日 稲村の火の館 施設見学
- ▶ 平成24年7月8日 原子力発電所について 講演会 (参加者 約100人)
- ▶ 平成24年11月16日 岸和田市危機管理部との懇談 消防署による救命救急の話 (AED体験)

南海トラフ巨大地震が起きると警戒されている中、城北校区は全く地震に対しての危機感がありませんでした。

しかし、平成24年3月11日に東日本大震災が発生したことで、当時、校区長の宇治川さんが立ち上がりました。

2回の講演会を開催し、東日本大震災から1年後、防災部会を立ち上げました。

その後も視察や見学を続けながら、今日まで避難訓練を続けてきました。

【NO.4】

- ▶ 平成25年1月27日 城北地区消火訓練 (参加者 262人)
- ▶ 平成25年3月31日 第1回城北地区避難訓練 (参加者 約1,100人)
- ▶ 平成25年6月3日 人と防災未来センター 施設見学 (45名)
- ▶ 平成25年12月4日 第2回城北地区避難訓練 (参加者 約880人)
- ▶ 平成26年6月6日 東日本大震災の経験と教訓 講演会
- ▶ 平成26年7月10日 城北地区市民協議会・福祉委員会 防災倉庫完成
- ▶ 平成26年11月30日 第3回城北地区避難訓練 (参加者 約800人)

【NO.5】

- ▶ 平成27年6月6日 『避難所設営に必要なことは？～第4回城北地区避難訓練に向けて～』 講演会 (19時30分～)
- ▶ 平成27年7月30日 『避難所設営に必要なことは？～第4回城北地区避難訓練に向けて～』 学習会 (13時30分～)
- ▶ 平成27年11月29日 第4回城北地区避難訓練 (参加者 約800人)
- ▶ 平成28年6月18日 『忘れてはいけない2004年新潟中越地震を振り返る』 DVD上映会
- ▶ 平成28年7月12日 大阪市立阿倍野防災センター 施設見学 (45名)
- ▶ 平成28年11月13日 第5回城北地区避難訓練 (参加者 約600人)

【NO.6】

- ▶ 平成29年3月11日 『3.11を思い出して』 講演会
- ▶ 平成29年5月26日 『防災について、今私たちが考えなければならないことは！』 講演会 (参加者 105人)
- ▶ 平成29年11月12日 第6回城北地区避難訓練 (参加者 約600人)
- ▶ 平成30年6月24日 『大沢地区の災害とボランティア活動について』 講演会 (参加者 約130人)
- ▶ 平成31年3月24日 第7回城北地区避難訓練実施予定

【NO.7】

城北地区消火訓練

平成25年1月27日

参加者 262人 (子ども約60人)



消火器による消火訓練



バケツリレー

この写真は、平成25年1月27日の城北地区消火訓練です。当時はオイル缶を燃やすことができましたので、実際に火を付け、消火活動を行いました。続いて、バケツリレーです。小さな小屋を建てて、実際に火を付けて燃やしました。子どもから大人まで、たくさんの方にバケツを持っていただき、バケツリレーでの消火訓練をしました。参加者262人のうち、子どもは約60人でした。

【NO.8】

第1回城北地区避難訓練

平成25年3月31日

参加者 約1,100人

訓練内容

- ▶ 震度7の地震発生を想定
- ▶ 各町・自治会で緊急放送
- ▶ 一時避難所集合
- ▶ 北公園（災害対策本部）まで避難
- ▶ 心肺蘇生・AEDの講習
- ▶ アルファ化米・豚汁の試食

平成25年3月31日、第1回城北地区避難訓練を実施しました。震度7の地震発生を想定しました。

【NO.9】

参加者 約1,100人



参加者は約1,100人でした。

【NO.10】

▶ 岸和田市金田危機管理部長のご挨拶

青年団・若頭・拾伍人組などの祭り団体が、祭り以外にこのような地域の行事に積極的に参加されている姿に本市の自主防災の方向性が見えたように思います。若い力が必要です。市としても今回の講師は非常に参考になりました。ありがとうございました。

▶ 宇治川校区長の講評

想定外の参加人数（約1,100人）にただただ感動しております。自分たちの地域は自分たちで守るという素晴らしい地域力を感じました。今後も、避難訓練を拡大しながら継続実施することにより、防災体制を高めたいと考えております。

当時の岸和田市危機管理部長であった金田さんからは、市の自主防災の方向性が見えたとお言葉をいただきました。想定外の参加人数に「自分たちの地域は自分たちで守るという素晴らしい地域力」とほめていただきました。

【NO.11】

第2回城北地区避難訓練

平成25年12月1日

参加者 約880人

訓練内容

- ▶ 震度7の地震発生を想定
- ▶ 各町・自治会で緊急放送
- ▶ 一時避難所集合
- ▶ 北公園（災害対策本部）まで避難
- ▶ 救護センター設置
- ▶ 新聞紙による緊急トイレの実演
- ▶ 自衛隊の車両展示・被災地の写真展示
- ▶ アルファ化米・豚汁の試食

平成25年12月1日、第2回城北地区避難訓練を実施しました。前回同様、震度7の地震発生を想定しました。

【NO.12】

参加者 約880人



「新聞紙による緊急トイレ」の実演



自衛隊の方のお話・パネル・車両展示

参加者は約880人。

自衛隊の方に来ていただき、自衛隊の車両展示、被災地の写真展示をし、被災地での活動の様子をお話いただきました。

また、岸和田市社会福祉協議会の職員の方に新聞紙とペットシートを使った緊急トイレの作り方を教わり、たくさんの方に作っていただきました。

【NO.13】



救護センター設置
地元の医師・看護師が協力

▶ 野村校区長講評

- ▶ 「釜石の奇跡」という言葉があります。災害はいつやってくるかわかりません。災害を止めることは出来ませんが、最小限に抑えることは出来ます。これからも、避難訓練は毎年続けます。続けることで、必ず奇跡は起ります。これからもご協力よろしくお願ひします。

また地元の医師、看護師の協力により、救護センターも作りました。すごく心強かったです。

当事、校区長の野村さんから、「釜石の奇跡」の話があり、「毎年避難訓練を続けることで必ず奇跡が起る」という力強いお言葉がありました。

【NO.14】

第3回城北地区避難訓練

平成26年11月30日

訓練内容

- ▶ 城北小学校で授業中、震度7の地震発生
- ▶ はしご車による救出訓練
- ▶ 保護者に児童の引き渡し訓練
- ▶ 防災グッズの展示と被災地の写真展示
- ▶ 岸和田市社会福祉協議会とタイアップ
- ▶ 福祉センターに災害ボランティアセンターを立ち上げる
- ▶ 北公園にサテライト設置し、ボランティア受付訓練
- ▶ ボランティアの方とお年寄り宅に困りごとのニーズを聞きに行く

平成26年11月30日、第3回城北地区避難訓練を実施しました。この回は城北小学校の先生方のご協力により、授業中に震度7の地震発生を想定しました。また、岸和田市社会福祉協議会の方の協力を得て、福祉センターに災害ボランティアセンターを立ち上げ、城北地区のボランティア受け入れ訓練を行いました。

【NO.15】

城北小学校では



児童に三角巾の使い方の講習



小学校の先生方による保護者に児童の引き渡し訓練

子どもたちに参加してもらうため、授業中に地震が発生した想定にしました。そしてこの回は、子どもたちに三角巾の使い方の講習を実施しました。こちらの写真は地震発生後保護者に児童の引き渡し訓練をしている様子です。保護者、先生方のご協力により、実現しました。

【NO.16】

参加者 約800人



はしご車による救出訓練



防災グッズの展示と被災地の写真展示

一方、私たちの訓練としては、はしご車を呼び、児童に参加してもらい、救出訓練を行いました。この回で初めて、避難所である小学校の体育館に入る訓練も行いました。

防災グッズの展示や、被災地の写真展示を行い、岸和田市の危機管理課の職員の方から、被災地の状況やボランティア活動のお話を聞きました。

【NO.17】



ボランティア受付訓練



ボランティアバス

北公園では、サテライトを作り、災害ボランティアセンターからのボランティア受け入れ訓練を行いました。この写真は、災害ボランティアセンターからのボランティアバスが城北に到着した写真です。

【NO.18】



- ▶ ボランティアの方と一緒に、ひとり暮らしのお年寄り宅に訪問
- ▶ 困りごとのニーズを聞く

災害ボランティアセンターのボランティアの方と、日頃より、ひとり暮らしのお家を訪問して下さっている福祉委員の方と一緒に、実際の困りごとを聞きに訪問しました。災害ボランティアセンターは、災害が起きたときに、被災者、被災地を主体としながら必要に応じて立ち上がり、全国各地からたくさんの人たちが駆けつけてくれます。しかし、災害発生時の救助には来てくれません。

【NO.19】

災害ボランティアセンターって？

- ▶ 災害が起きて被災者、被災地を主体としながら、必要に応じて立ち上がります。地元での助け合いに加えて全国各地からたくさんの人や団体・企業がボランティアで駆けつけてくれます。

※災害発生時の救助には来てくれません!!

避難訓練と災害ボランティアセンター立ち上げ訓練とタイアップした問題点

災害ボランティアセンターに対する正しい知識を、役員はじめ地域住民に伝えることが出来なかったため、時間差による困惑が生じた。

避難訓練の真っただ中に、ひとり暮らしのお年寄り宅を訪問したことにより、災害時には、待っていれば助けに来てもらえると思われていた。

避難訓練と、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練をタイアップしたことで、災害ボランティアセンターは災害が起こってすぐに立ち上がると誤解が生じ、混乱を招きました。

また、避難訓練の最中に、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問したため、災害時でも待っていたら助けにきてもらえると思われていたと勘違いをされました。

【NO.20】

第4回城北地区避難訓練

平成27年11月29日

- ▶ 北中学校・城北小学校・城北地区公民館の三カ所に分かれての避難訓練
- ▶ 想定
震度7の地震がおさまりました。しかし、ライフラインが止まってしまい、生活が出来ません。地域の皆さんは近くの避難所に避難して下さい。
- ▶ ※耐震工事が出来ている旭府営住宅・春ヶ丘団地・ビレッジハウス(旧・事業回)は避難する必要がないので、今回は想定を変え、近くの避難所で物資の配給を待って下さい。

第4回目の訓練は、震度7の地震発生の想定を変更しました。それは、私たちの校区の3つの集合住宅は耐震工事が完了しているため、地震発生時に避難の必要がありません。

ところが避難訓練により、地震発生時に避難しなければいけないという勘違いをされたり、逆に「耐震工事が完了しているのに、なぜこんな訓練をするのか」という反発が出てきたからです。

【NO.21】

訓練内容

- ▶ 段ボールの間仕切りによる避難所設営訓練
- ▶ ペール缶による火おこし訓練
- ▶ 炊き出し訓練

そこで、「ライフラインが止まったときに、水や食料が届くのは指定されている避難所だけである」と理解してもらい、訓練に参加していただくというように想定を変更しました。

【NO.22】

参加者 607人

城北小学校 212人

北中学校 約160人

城北地区公民館 235人



青年団による炊き出し訓練



ペール缶による火おこし訓練



避難所設営訓練

訓練内容は、避難所でのプライバシー確保のため、ダンボールを利用した間仕切り訓練と、ガスが止まってしまった時に役立つペール缶を使った火起こし訓練をしました。これは、ガソリンスタンドなどにあるオイル缶にちょっとした細工をすることで、8ℓのお湯を約15分で沸かすことができます。そして、その火を使っての炊き出し訓練も行いました。

【NO.23】

気付き

- ▶ 北中学校は階段を登らないとどこにも行けない事に初めて気付く。看護師の方に、車椅子をふたりで楽に持ち上げる方法を教えて頂いたがなかなか難しく、車椅子の方に不安感を抱かす結果になった。
- ▶ 城北小学校の体育館に段差があり、車椅子が入れないことに前回気付き今回はスロープを設置することができた。

この回の訓練は、北公園に一斉に集まるのではなく、城北小学校、公民館、北中学校の3箇所に分かれて、それぞれ同じ訓練を3箇所で行いました。この時の参加者の合計が607人です。

その結果、北中学校は階段を登らないとどこにもいけないことに気づき、車椅子等の対応に行き詰まりました。

【NO.24】

第5回城北地区避難訓練

平成28年11月13日

訓練内容

- ▶ 北公園に、4つのブースを設置しました。
 - ① 煙の体験
 - ② 炊き出し訓練
 - ③ 間仕切り体験
 - ④ ペール缶による火おこし訓練
- ▶ それぞれ、ブースの責任者を中心に会議を重ね本番に臨みました。

平成28年11月には、第5回城北地区避難訓練を実施しました。避難訓練でイベント的なことをすることに批判もありますが、人が集まらないことには何も進まないのも事実です。

【NO.25】

参加者 約600人



煙の体験

5回目ともなると新たな案が思いつかず、城北地区避難訓練を立ち上げた宇治川さん（元校区長）に相談したら「あべの防災センターに見学に行った際、何か今回の訓練に使えるものはなかったのか」と問われ、ハッと気付き、煙の体験をすることにしました。

この回の避難訓練の参加者は約 600 人でした。この写真は煙の体験です。

【NO.26】



炊き出し訓練



間仕切り体験



ペール缶による火あこし訓練

後は前回と同様、炊き出し訓練、ダンボールを利用した間仕切り訓練、ペール缶による火起こし訓練を行いました。

【NO.27】



宇治川防災部会総括講評



北中学生に水の配布を手伝ってもらいました

◆ 今回で5回目の避難訓練ですが、年々人数が減ってきているのが残念です。災害は必ずやってきます！災害を防災、減災に繋げるためには訓練が必要です！第6回城北地区避難訓練には**起震車**をよびます！ご近所同土声かけあって、是非ともご参加下さい！！

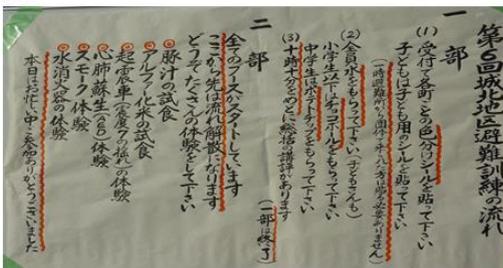
この回は、北中学校の生徒にも呼びかけ、生徒会の方に参加していただき、水の配布を手伝ってもらいました。最後に、防災部会の宇治川さんから総括講評がありました。

【NO.28】

第6回城北地区避難訓練

訓練内容

平成29年11月12日



平成 29 年 11 月 12 日、第 6 回城北地区避難訓練を実施しました。この回は、途中参加もしやすいように 1 部と 2 部に分け、途中から避難訓練に参加した人にも分かるように、避難訓練の流れを書いた紙を、入口 3 か所に提示しました。

これは城北校区の書道の先生に書いていただいたものです。

【NO.29】

今回の避難訓練の特徴

- ▶ 祭礼団体・子ども会等にブースの担当をあてる。
- ▶ 忙しい方にも参加してもらえるように、北公園に避難した時点で1部を終了とし、2部をイベント的な内容とし、自由参加とした。
- ▶ 北中学生、ひとりひとりに呼びかけ、積極的に協力してもらいやすい体制をとった。

この回の避難訓練の特徴は、若い世代の方にブースの担当を任せる、2部構成にする、北中学校の生徒に積極的に呼びかける、です。

【NO.30】

北中のみなさんへ

第6回城北地区避難訓練お手伝いのお願い

- ▶ () 1 入り口で水を配布してくれる方
- ▶ () 2 出口でアンケート調査をしてくれる方
- ▶ () 3 準備のお手伝いをしてくれる方
- ▶ () 4 当日、幼稚園児、小学生等の子どもと遊んでくれる方

▶ 結果

- ▶ **北中学生53人が参加の意思表示**

今までは、漠然と北中学校の生徒に参加呼びかけをしていたのですが、この回はきちんとした役割を決めた上で、北中学校の生徒全員に個別に参加をお願いしました。

その結果 53 名もの生徒から参加の返事もらいました。これが実際に配ったアンケートです。

【NO.31】

参加者 約600人



体験者 184人

起震車で震度7の揺れを体験 (担当:若頭)

この回の参加者は約 600 人。

起震車で揺れの体験者は 184 人。

各ブースの担当は若い皆さんにお願いしました。

【NO.32】



煙の体験 (担当:青年団)



炊き出し訓練 (担当:子ども会)



運搬 (担当:拾伍人組)



心肺蘇生の体験 (担当:防災部会)

煙の体験は青年団、炊き出し訓練は子ども会。

運搬は拾伍人組・弐拾伍人組。心肺蘇生の体験は防災部会。

【NO.33】

- ▶ 北中学生は
- ▶ たくさんの中学生に参加してもらったのに、役員が中学生担当の作業をしてしまった。
- ▶ 小さい子どもとブースを回ってもらう担当を中学生にお願いしたにも関わらず、小さな子どものひとりの参加がなかった。

その結果、残念なことに、たくさんの中学生に参加してもらったにも関わらず、役員が中学生担当の作業をしてしまったということがありました。また、小さい子ども 1 人で参加された時の担当をお願いしていたのですが、小さい子ども 1 人での参加がありませんでした。

【NO.34】

中学生のアンケート集計

- ▶ 今回の訓練の運営をされた方々が、情報伝達に困っているかのように見えた。
- ▶ 話の食い違いなどないように、密にする必要があるように思われた。

一般のアンケート集計

- ▶ 実際に地震が発生した時に、いかに落ち着いて行動出来るかが、重要なことだと思いました。(20代男性)
- ▶ 避難訓練なので、そんな気持ちの方々なので、だから感を感じてしまいました。やや残念!!(50代女性)
- ▶ 体験出来て良かった。実際に起こればどうなるのか、やはり不安です。(80代男性)

中学生のアンケートでは、「今回の訓練を運営された方々が意思伝達に困っているように見えた」、また、「話の食い違いがないように密にするように」というシビアな意見をもらいました。たくさん課題はありますが、祭礼団体をはじめ、北中学校の生徒の若い力をバネに、訓練を続けていきたいと思えます。

【NO.35】

第2部

第7回城北地区避難訓練に向けて

小林さん: それでは2部の発表をさせていただきます。第7回の避難訓練は、今年の3月24日に予定しています。1部で過去の避難訓練について発表させていただきましたが、今までの内容を踏まえながらと思っています。

【NO.36】

大沢地区の災害とボランティア活動について

2018年6月24日(日)
時間 午前10時～11時30分
場所 城北地区公民館(体育館)

- ▶ 参加者 約130人
- ▶ 災害時に動いてくれるボランティアを募集
- ▶ 20の方が手を上げてくれました。

第1部 実践報告 社会福祉協議会職員
第2部 災害支援ボランティア活動参加者の声
小川 美一・長谷 二三雄・増田 二郎・藤原 孝子
第3部 質疑応答

これは、昨年の6月24日に実施した防災講座の案内です。講師は社会福祉協議会の青山織衣さんに来ていただき、城北校区から参加した4名の方にも経験談を話していただきました。この講座のあと、災害時のボランティア活動の参加について、約20名の方の応募がありました。こういう機会を通して増やせればと思っています。130名もの参加者で、盛況な開催となりました。

【NO.37】

台風21号・24号の被害による各町の対策

春木旭町



- ▶ 祭礼団体による災害ゴミの片づけ
- ▶ 住居地図確認のうえブルーシートの配布

台風21号、24号が大変大きな被害を残しました。各町で対応した内容について説明します。これは春木旭町ですが、祭りの団体が災害ゴミの片付けをしている写真です。市からブルーシートが配布されました。1人で何枚も欲しいという方がいましたが、公平も大事なので1世帯1枚と確認しながら、2回にわたり配布しました。

【NO.38】

台風21号・24号の被害による各町の対策

吉井町

- ▶ 毎日のように町内を巡回して、ブルーシートの必要な家に町会長自らが配布にまわった。
- ▶ 町会館を開放し、電気が開通されていない方の為に、クーラーを付けて涼んでもらったり、携帯の充電ができるようにした。
- ▶ 災害ゴミに便乗して、日増しに増えてくるゴミ対策の為に、ゴミの番号ブルーシートを掛けて、これ以上増えないようにした。
- ▶ 被害を受け、住むことで危険を伴うお家を訪問し相談にのる。

これは吉井町です。毎日町内を巡回しブルーシートが必要な家に、町会長自らが配布しました。電気が開通されていない人のために集会場を開け、クーラーをつけて涼んでもらったり、携帯電話の充電ができるようにもしました。災害ゴミの番をしたり、ブルーシートをかけたしたりして、これ以上災害ゴミに家庭ゴミが便乗しないようにしました。

【NO.39】



▶ 台風21号でだんじり小屋のシャッターが吹っ飛びました。



▶ 祭礼団体がその日のうちに応急処置

町内のだんじり小屋のシャッターが風で飛んだところを、祭礼団体がすぐに直してくれた写真です。

【NO.40】

台風21号・24号の被害による各町の対策

旭府営住宅

- ▶ 停電により、エレベーターが停止し、階段の電気も全て消えました。高齢者かつ、ひとり暮らしの方が多いため、すごく不安を抱かれておりましたので、自治会長が懐中電灯片手に一晩中階段をまわりました。
- ▶ 給水タンクが止まり断水になりました。
- ▶ 岸和田市危機管理課に、非常用飲料水（24袋）300個支給の要請し確保
- ▶ 近隣の城北小学校にトイレ使用許可のご協力を頂く

続いては、旭府営住宅です。停電によりエレベーターが停止、階段の電気もすべて消えました。高齢者、ひとり暮らしの方が多く、不安を抱かれていたので、自治会長が懐中電灯を片手に一晩中回りました。また、給水タンクが止まり断水したので、市に給水用のポリタンク 300 個を支給要請しました。また、近隣の城北小学校にトイレ使用の許可をもらいました。

【NO.41】

台風21号・24号の被害による各町の対策

春ヶ丘団地

- ▶ 住民宅の窓ガラスが割れ、役員で応急処置を行いました。
- ▶ 倒れた樹木・ベランダの仕切り壁の撤去作業の手伝いを行いました。
- ▶ 台風21号が、想定外に大きな被害をもたらせた為、台風24号の時には集会場を一時避難所に開放して、不安な方々に集まってもらいました。また、おにぎり等を準備して食べて頂きました。

春ヶ丘団地では、住民宅の割れた窓ガラスの片づけ、また、倒れた樹木、飛んだベランダの仕切りの撤去作業もしました。台風21号が想定外の被害をもたらしたため、台風24号発生時には、不安な方に集まってもらい、おにぎり等を準備して食べてもらいました。

【NO.42】

台風21号・24号の被害による各町の対策

ビレッジハウス

- ▶ 集会場のガラスが割れて飛び散ったため、役員で片付けました。
- ▶ 掲示板が倒れたので、役員で修理しました。
- ▶ 高齢者が多いため、停電の夜、懐中電灯を持って巡回しました。
- ▶ 住居者には被害がなく、停電時間も短く、断水にならなかったのが有難かったです！！

ビレッジハウスでは、集会場の窓ガラスが割れて飛び散ったため、役員で片付け、修理しました。高齢者が多いため、懐中電灯を持って巡回もしました。入居者には被害はなく断水にもならなかったものでありがたいです。

これ以外にもたくさんありますが、最後に、被害の中で感じたこと、防災部会でいろいろ話が出たことを少しまとめてお話しします。

【NO.43】

1) 停電の問題・・・迷いつつ隣で、1週間近く停電が発生した地区

- ▶ 関西電力への復旧依頼が多く発生したが、明確な回答が得られず対応に苦慮しました。
- ▶ 2) 携帯電話は繋がりますが、家庭の固定電話に繋がらず困りました。公民館には繋がらず、避難可能が問い合わせ連絡できず停電していた。
- ▶ 3) 公民館は指定避難場所でありながら、約1週間停電しました。電気が通じてない公民館が避難場所として適切が、疑問を感じる。停電時の対応策が必要であり、発電機の必要性を感じた。府営住宅でも停電による断水が発生した。
- ▶ 4) 災害ゴミの収集には祭礼団体が積極的に協力して頂き本当に助かりました。祭礼団体の協力は祭礼以外で地域に対する繋がりを強く感じました。本当に有難う御座いました。
- ▶ 5) 災害ゴミの発生は当然のことで、適切な処理対応しますが、数日の間に明らかに家庭の大型ゴミ（布団・電化製品等）を廃棄する人があり住民の皆様へのモラルの問題も提起されました。

1 番目に停電の問題です。関西電力への復旧依頼をしても、いつ復旧するか明解な答えがなくて、対処に苦慮したという状況です。

2 番目に、携帯電話はつながりましたが、家庭の固定電話はつながらず困りました。

城北地区公民館は指定避難場所でありながら、約1週間停電しました。

災害ゴミの収集に祭礼団体が積極的に協力していただき本当に助かりました。

最後に、災害ゴミの発生は当然のことで、市が撤去してくれていましたが、数日の間に明らかに災害ゴミでないものが相当数出されていました。住民の皆様のモラルの問題も提起されました。

【NO.44】

第7回城北地区避難訓練

平成31年3月24日実施予定

▶ 想定

震度7の地震がおさりました。しかし、ライフラインが止まってしまい、生活が出来ません。地域の皆さんは近くの避難所に避難して下さい。

▶ ねらい

- ▶ 北中学生に協力を求め、自分たちの地域は自分たちで守る
- ▶ 岸和田市社会福祉協議会とタイアップし、ボランティア受け入れ訓練ならびに、要援護者宅を訪問し繋がりを作る

今回3月24日に行う城北地区避難訓練の内容です。「震度7の地震が収まりました。しかし、ライフラインが止まってしまい、生活ができません。地域の皆さんは、近くの避難所に避難して下さい。」という想定です。

先ほども話があったように、ねらいは、北中学校の生徒に協力を求め、自分たちの地域は自分たちで守ること。岸和田市社会福祉協議会とタイアップし、ボランティア受け入れ訓練、ならびに要援護者宅を訪問し、つながりを作る。

【NO.45】

▶ 第1部 10:00～11:30

▶ 避難者の確認

▶ グラウンド

- ① 壊れた屋根の応急処置（ブルーシート張りの実演と講習）
- ② 城北地区市民協議会 防災部会のポンプによる放水訓練

▶ 体育館

- ① 三角巾を使用した応急手当の講習
- ② 防災グッズの展示
- ③ 寝ボールベッドならびに災害用トイレの展示

- ▶ 11:00～ 危機管理部 及び 防災部会長の講評
- ▶ 11:10～ 豚汁・アルファ化米の試食及び水を配布して終了

第1部は、一次避難所に集まり、最終的には10時に北公園にて避難者の確認を行う。グラウンドでは壊れた屋根の応急処置、防災部会のポンプによる放水訓練を行います。体育館では、三角巾を使用した応急手当の講習、防災グッズの展示、ダンボールベッドならびに非常用トイレの展示をします。最後に豚汁とアルファ化米の試食及び水を配布して終了です。

【NO.46】

▶ 第2部 11:30～12:45

- ▶ 11:30 北公園にサテライト設置
- ▶ 11:35 災害ボランティアセンターの仕組みと役割の説明
- ▶ 11:40 災害ボランティアセンターよりボランティア受け入れ訓練
- ▶ 11:50 ボランティア活動（要支援者宅の訪問）
- ▶ 12:30 北公園のサテライトに戻り報告と反省
- ▶ 12:45 解散

第2部として北公園にサテライトを設置します。第3回目の避難訓練にも実施しました。災害ボランティアセンターとのタイアップを今回もやります。災害ボランティアセンターの仕組みと役割の説明、災害ボランティアセンターよりボランティア受け入れ訓練をし、ボランティア活動としての要支援者宅の訪問をします。これは、事前に各町会・自治会で要援護者のお名前と対応することの了解をとってもらい、その方を訪問する形を取る予定です。約20～30名いると思いますので、そのように進めたいと思います。そして、最後に北公園のサテライトに戻り、報告と反省をして、まとめたいと思っています。

【NO.47】

防災部会として

- ▶ 避難訓練の継続と内容・・・毎回少しでも興味をわく内容を検討して進める。
- ▶ 中学生の災害に対する意識と交流を図り協力体制の確保
- ▶ 要援護者への対応・・・災害発生後のボランティア活動に対する対応体制の確保
- ▶ 『南海トラフ巨大地震』の発生が囁かれる中、城北地区として取り組みの充実を図り災害発生時に役立つ避難訓練を目指します。

▶ 防災

▶ 減災

▶ 災害ボランティア

に対する意識を高め、地域全体の協力体制が盛り上がるよう、皆様のご協力をお願い致しまして、城北地区の発表と致します。

城北地区市民協議会 防災部会

最後になりますが、避難訓練の継続と内容ということですが、毎回少しでも興味を持ってもらえる内容を検討して進めたいと思います。1部の説明でもあったように、何をすれば人が集まるかということがあるので、避難訓練の中に、ある程度イベント的な内容を入れながら、皆さんに集まってもらいたいと思っています。

中学生の災害に対する意識と交流を図り、協力体制を構築していきたいです。

災害発生時の要援護者へのボランティア活動体制の確保が必要です。1部でも話がありましたが、要支援者やひとり暮らしの高齢者宅への訪問等、各町で対応していますが、ボランティアという中でどのように対応するのか、訓練しながら勉強していきたいです。

南海トラフ巨大地震の発生がささやかれる中、城北地区として取り組みの充実を図り、災害発生時に役立つ避難訓練をめざします。

防災、減災、災害ボランティア、この3つの大きな柱を元に、避難訓練が盛り上がり、事後につながるような訓練にしたいと思っています。地域全体の協力体制が盛り上がるように、皆様のご協力をお願いしまして、城北地区の発表と致します。

岸和田市立北中学校 生徒会

平成 29～30 年度 サービスラーニングを取り入れた防災学習

平成 29 年度から全学年で地域の防災マップを作ったり、災害時に避難所などで中学生にもできることを考える学習をおこなっています。中学生が地域の大人と共に学び、つながり、考え、いざというときに動けるような体制をめざして取り組んでいます。



発表者（左から）

おかの きょう
岡野 響 さん

みなみ ほのか
南 穂香 さん

さだの さあや
定野 紗采 さん



1 岸和田市立北中学校
平成29～30年度

サービスラーニングを取り入れた 防災学習

- 校区防災マップをつくろう
- もしものために
何を備えておいたらいいのかな？

岸和田市立北中学校

北中学校、2年間のサービスラーニングを取り入れた防災学習の発表をします。よろしくお願いします。

2

北中学生の目線で自分たちの住むまちを観察し、**地域の指定避難所や災害時に役立つもの**(防火水槽や防災倉庫など)、**危険な箇所、災害時要配慮者**(乳幼児や高齢者等)が住んでいる場所を発見し、まちの生きた情報を集めました。

もしもの時(大規模な災害時)に、地域の人の近くにいる確率の高い中学生たちは、多いに地域の助けとなれる(地域人である)のです！



岸和田市立北中学校

この学習は1年生の1学期のとき、防災マップを中学生目線で作ろうというものです。

3

はじめに、過去の災害について学びました

- 阪神淡路大震災
- 東日本大震災
- 熊本地震

岸和田市立北中学校

過去に起きた大災害について学びました。私たちがまだ生まれていないときに起きた阪神淡路大震災、もうすぐ8年が経つ東日本大震災、もうすぐ3年になる熊本地震です。どの震災、地震においても甚大な被害、たくさんの方が尊い命を落とされました。改めて怖さを感じました。

4

阪神淡路大震災 まちの様子



出典 ariki.jp/men.com

岸和田市立北中学校

5

阪神淡路大震災 まちの様子



出典 ariki.jp/men.com

岸和田市立北中学校



出典 www16.rivale.or.jp

阪神淡路大震災 まちの様子

6



福和町立北中学校

阪神淡路大震災 まちの様子

7



出典 sankei.jp/men.com

福和町立北中学校

東日本大震災 津波被害 岩手県

8



福和町立北中学校

東日本大震災 津波被害 岩手県

9



福和町立北中学校

東日本大震災 震度6弱後 家の中の様子

10



福和町立北中学校

東日本大震災 震度6弱後 家の中の様子

11



福和町立北中学校

熊本地震 道路封鎖の様子

12



福和町立北中学校

熊本地震 道路封鎖の様子

13



福和町立北中学校

熊本地震 道路封鎖の様子



熊和国公立中学校

まず何をすればいいの？



熊和国公立中学校

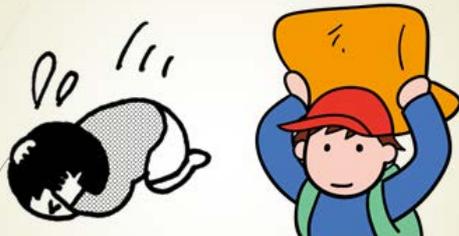
もし、自分たちの身近で起きたときどうすればいいか、考えました。

まずは
身を守ろう



熊和国公立中学校

まずは自分自身の命、身体を守る、とにかく揺れているときは、落ち着いて頑丈なものの下に隠れる。



頭と首

熊和国公立中学校

頭、首を守る。

18

揺れがおさまったら・・・

安全な場所へ移動！

岸和田市立北中学校

揺れが収まれば、安全を確認して身近な場所へ移動する。

私たちの授業中に起きればグラウンドへ、そこから総合体育館に避難します。

家の人とも避難場所の話をしています。

19

南海トラフ巨大地震の 津波到着時間は？

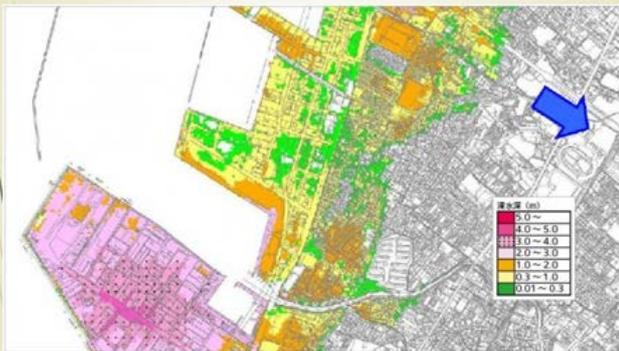
(岸和田市)

**約93分後**

岸和田市立北中学校

南海トラフ巨大地震が起きたときの学習もしました。

20

岸和田市津波被害想定

岸和田市立北中学校

21

南海線より東(山側)へ**歩いて移動！**

岸和田市立北中学校

22

災害時要配慮者とは

高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人といった

災害時に配慮が必要な人



昭和町立北中学校

次に、マップづくりですが、今まで聞いたことのない災害時要配慮者についても教えてもらいました。

23

まちを知ろう！

北中生目線で 校区の防災マップを つくったよ

昭和町立北中学校

24

みんなで一緒に



まちの災害時要配慮者の方々を
みつけた理由



自分たちが避難する時に、
**近くにいる災害時要配慮者と一緒に
避難するため。**

日頃からその存在を知っておこう♪

昭和町立北中学校

マップづくりに取り組みましたが、学年、クラスごとではなく、1～3年生合同で自分の今住んでいる町ごとに分かれて作成しました。

近所の人たちなので顔を知っていますが、1～3年生と一緒に学習するのは初めてでとまどいもありましたが、みんな真剣でその中にも楽しさがありました。

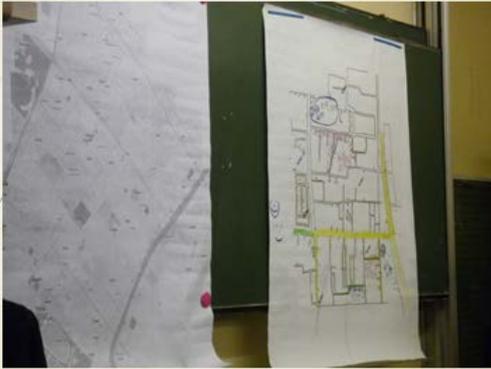
25



昭和町立北中学校

夏休みを使って、防火水槽や自動販売機のある場所、要配慮者の方のいる家を調べました。

26



熊和岡市立北中学校

地域の方からアドバイスをもらって作った、私たち目線のマップです。

道の両脇や地域の避難場所、危険な箇所を色分けし、シールを貼りました。

27

地域の方々も一緒に勉強



熊和岡市立北中学校

これは地域の方、要配慮者の方にも本校体育館に来ていただき、NPO 法人とれじゃーBOX の方、岸和田市社会福祉協議会の方にもご協力をいただき、全校生徒が集まり、マップの発表、パネルディスカッションをしているところの様子です。

28

**北中生と地域の方の情報を併せ、
情報共有し、さらには、
「オール地域で作った
北中校区防災マップ」を
地域の防災訓練などに役立てよう！**



熊和岡市立北中学校

いろいろな人と協力しながらできたマップです。すごく勉強になりました。

29

熊本地震の事例・・・

**「城西小学校避難所」で
中学生が避難所運営で大活躍した**



自分たちも練習しておこう

熊和岡市立北中学校

2年目は、私たち中学生が避難所で何ができるかに取り組みました。

熊本地震では、中学生がいろいろな役割を持ち、活躍をしたそうです。

命を守るために

何を備えておいたらいいのか
を学びました



岸和田市立北中学校

避難場所でも自宅でも、どのようなものを揃えておけば良いのかも学習しました。

トイレ…

がまんしない



岸和田市立北中学校

水、これは最低限必要です。1人が1週間必要な量は40ℓ程度いるようです。トイレなどの水も必要です。

こんな袋の準備を

いつものトイレを
水がなくても使えるように
変身させよう！



岸和田市立北中学校

水がなくて流せなくても、「おむつが臭わない袋」は臭いません。新聞紙などは非常に役に立ちます。

体育館・剣道場・柔道場に分かれて設営体験



岸和田市立北中学校

暗いところでは、こんな工夫をして照明を作ることができます。

(ビニール袋と懐中電灯を使用した照明の実演)

岸和田市危機管理課、岸和田市社会福祉協議会からお借りした、ダンボール間仕切り、ダンボールベッドを自分たちで作って使ってみました。これなら中学生でも組み立てられます。

34

体育館・剣道場・柔道場に分かれて設営体験



福和町立北中学校

35

体育館・剣道場・柔道場に分かれて設営体験



福和町立北中学校

36

体育館・剣道場・柔道場に分かれて設営体験



福和町立北中学校

37

来年度は、
地域の方々と一緒に
避難誘導～避難所運営の訓練を
実施する予定です。



福和町立北中学校

今年度は地域の方に来てもらって、避難所を開設しようとしていた日が台風 21 号の影響で中止になりました。



これは、城北地区避難訓練の様子です。
私たちがボランティアとして参加しています。
今年度は3月24日です。またお手伝いをしたい
と思っています。

震災が起こらず、我々が活躍できないことを祈っ
ています。

でも、もしものときに我々が学習したことが役立
つように、今後ももしものときに備える学習をし
ていきたいと思います。

地域の皆さん、岸和田市社会福祉協議会さん、NPO
法人とれじゃーBOXさん、ありがとうございました。

また、このような発表の機会をいただきありがと
うございます。

めっちゃ緊張しましたが楽しかったです。

以上で北中学校の発表を終わります。

茶 話 会 ～ 閉 会



小南さん：そろそろお時間が参りました。

皆さん、災害で学んだこと、困ったこと、今後につなげていきたいことなどいろいろお話しできたでしょうか。

今回、台風 21 号という大災害により、いざという時の備えの必要性をよりいっそう感じられたことかと思えます。

今日の交流を通して、学んだことを地域や家庭に持ち帰っていただいて、是非とも取り組んでいただきたいと思います。自ら何ができるかを考えて、行動していただくことを期待しております。

最後に、岸和田市生涯学習推進本部委員長である岡野より、閉会の挨拶を申し上げます。

岡野さん：皆さん、今日は本当に長い間、最後までご協力をいただき、ありがとうございました。発表していただいた3団体の皆さん、ありがとうございました。今日は災害のお話で、非常にプラスになったと思います。

私たちのグループでは、町会に入っていない家庭をどうしたらいいのか話をさせていただきました。

最近は町会に入っていない家庭が多いですが、非常事態の場合は、町会に入っている、入っていないは関係ありません。入っていないところをほっておくということはありません。どこが一番災害に遭っているのかで対応する、それがボランティアの任務だと思います。

しかし、町会長を筆頭に頑張っていたというなか、町会の役割を知っていただき、入ってもらうという努力を今後も続けていく必要があると思います。これも生涯学習の1つだと思います。

今日の学習が、岸和田市のプラスになり住みやすい町になるように、皆さんの力でお互い協力しながら進んでほしいと思います。

最後になりましたが、今日をご参加いただきありがとうございました。

これからもよろしくお願ひします。

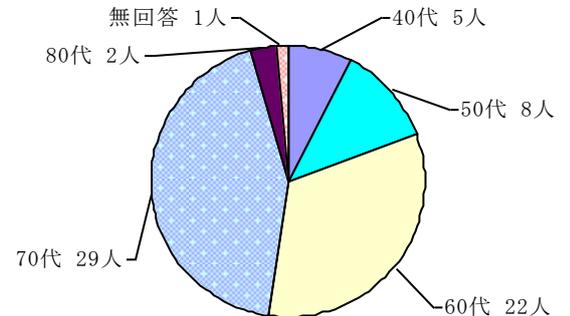
平成30年度「いきいき市民のつどい」アンケート集計

(67枚/105人)

1. あなたの性別 (男 48人・女 19人)

年齢	40代	5人
	50代	8人
	60代	22人
	70代	29人
	80代	2人
	無回答	1人

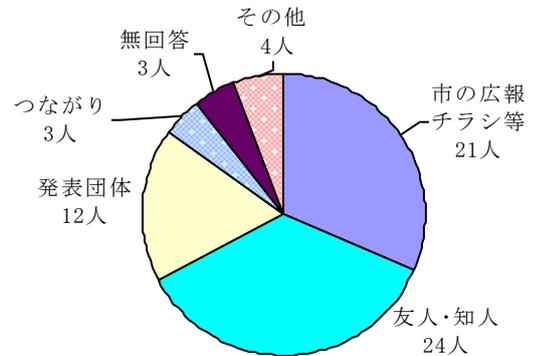
1. あなたの性別 (男48人 女19人)



2. この「つどい」に参加されたきっかけはなんですか。

A. 市の広報・チラシ等を見て内容に興味を持った	21人
B. 友人・知人に誘われた	24人
C. 発表団体に興味を持った	12人
D. つながりを作りたい	3人
無回答	3人
その他 (生涯学習関係委員)	4人

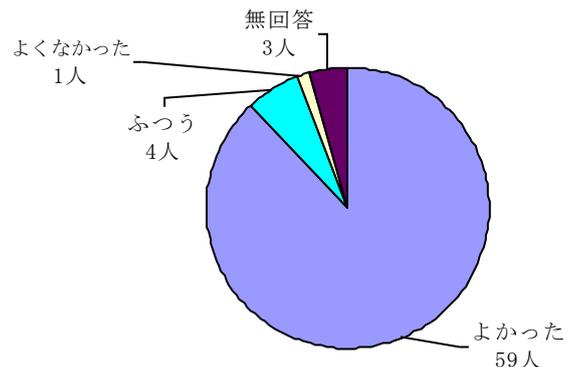
2. つどいに参加されたきっかけは?



3. 活動団体の発表内容は、どうでしたか?

A. よかった	59人
B. ふつう	4人
C. よくなかった	1人
無回答	3人

3. 活動団体の発表内容は?



全体のよかった点

- ・前向きな姿勢で取り組んでおられる (2人)
- ・地域での取り組みがわかった
- ・具体的で実感が持てた
- ・それぞれの活動のすばらしさを知ることができた
- ・若者たちと交流の場を持てたこと
- ・良い話が聞けて、とてもよかった
- ・災害の発表によって学んだことが多くあった。日ごろの訓練は感心した
- ・各パートでそれぞれが頑張っていることがわかった
- ・今後の取り組みの参考にしたい
- ・生徒が発表に携わったこと
- ・気づきになった
- ・防災活動をされているところ

- ・子どもたちの発表に勇気が沸いた
- ・他市からの参加だが、岸和田でいろいろな取り組みをされていることがわかった
- ・災害経験が活かされている

産業高校のよかった点

- ・発表がよかった (2人)
- ・活動を知らなかったのがよかった
- ・企画内容の斬新な発想と前向きな行動がよい作品と幅広い知識の習得につながったと思う
- ・自分たちで企画、立案、実行されていること (2人)
- ・短期間に関わらず、生徒たちだけでよくできたプレゼンだった

城北地区市民協議会のよかった点

- ・何年も前から地域での防災訓練を継続されており、感心した (2人)
- ・防災の取り組み姿勢が非常によかった (中学生との訓練)
- ・災害ボランティアセンターの立ち上げへの努力や継続されていること
- ・大いに参考になり、当市民協でも取り入れたい

北中学校のよかった点

- ・頑張ってくれている様子
- ・ありがとうございます。感心することばかり。どの中学校、地域にも広がればと思う
- ・よかった。中学生に期待している
- ・防災の役割を持つマップ作成は有意義で、よい経験をされたのではないかな
- ・マップ作りは大変だったと思うが、中学生ならではの細道の情報もあるのでは

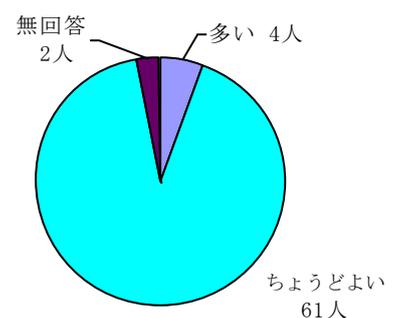
その他ご意見

- ・どの団体も質問できる時間があればよかったと思う
- ・本当に災害が起こったときに冷静に行動できるかが不安
- ・防災訓練、対策の差を感じた
- ・障害者のための文字スクリーンは必要
- ・ファッションショーの説明がほしかった
- ・画面が小さく、字が読みづらかった

4. 発表団体の数は、どうでしたか？

A. 多い	4人
B. ちょうどよい	61人
C. 少ない	0人
無回答	2人

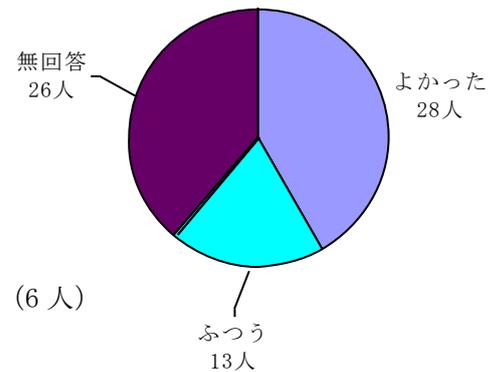
4. 発表団体の数は？



5. 茶話会は、どうでしたか？

A. よかった	28人
B. ふつう	13人
C. よくなかった	0人
無回答	26人

5. 茶話会はどうでしたか？



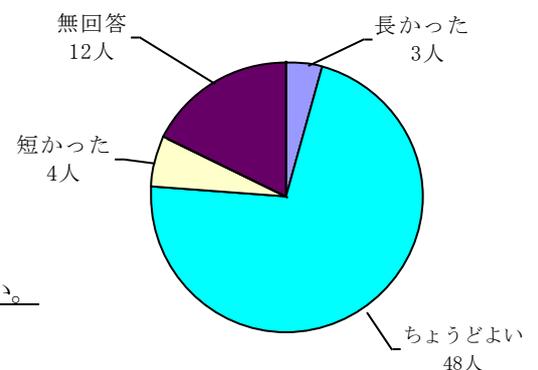
その他ご意見

- ・ いろんな立場の方とお話ができ、情報の交流、意見が聞けた (6人)
- ・ 意見交換で内容を深められた (2人)
- ・ ゆっくりとざっくばらんに話せた (2人)
- ・ 発表を聞いた後、話し合っって帰れるというのは良い
- ・ 仲間同士でテーブルについたため、茶話会のグループ分けについて検討いただきたい
- ・ 自分の思いを伝えられた
- ・ よい意見を聞いてよかった。身を守るのが大事だと思う。参加してよかった
- ・ 他の地区の防災の話が聞けた
- ・ 災害についての意見交換ができた
- ・ 地域の人といろいろ話せた

6. 時間は長かったですか？短かったですか？

A. 長かった	3人
B. ちょうどよい	48人
C. 短かった	4人
無回答	12人

6. 時間はどうでしたか？



7. 災害で学んだこと、困ったこと、実際に行動したことは何ですか。

- ・ 防災グッズの備え (3人)
- ・ つながり作り (2人)
- ・ 近所の見回り、片づけを手伝った (2人)
- ・ 地域で毎年防災訓練を行っているか知らず、行動していない
- ・ 災害ボランティアに参加させてもらい、実情がよくわかった
- ・ 小さなコミュニティ作りを広げ、地域との格差がないように身の回りの連携を密にする
- ・ ブルーシートの配り方に配慮が必要。校区で避難訓練に取り組んでいる城北校区は素晴らしい
- ・ 今回の台風 21 号は大災害のリハーサルだったと持って危機管理をしたい
- ・ 日ごろも意識を持っておく大切さ
- ・ 避難弱者の防災訓練への参加
- ・ 大沢町のボランティアに参加した
- ・ ボランティアセンターに参加している
- ・ 支援することの難しさを感じた
- ・ 減災に対する共助の重要性 (高齢者、独居老人への対応)
- ・ 災害直下の状況調査、片付け
- ・ 停電では携帯電話も使えない。台風が来る前に集会所におにぎりを準備しておく
- ・ 避難訓練は町単位ではなく、校区単位でしないと役割ややり方が混乱する。

- ・避難指定場所には電話と電源確保が必要
- ・停電が困った
- ・訓練の規模の大きさなど
- ・ボランティア活動

8. やっていて楽しいこと、やりがいは何ですか。

- ・ありがたい言葉がやりがい
- ・つながり
- ・楽しいことはない
- ・みんなで何かをやり遂げること
- ・趣味
- ・共に行動すること

9. 今後やってみたいことは何ですか。

- ・安否確認
- ・担い手作り
- ・つながりを持っていきたい
- ・防災組織作り
- ・山登り
- ・いきいき市民が増えること
- ・ボランティアの参加
- ・みんながひとつの方向に進んでいくこと

10. 講演等、希望されるテーマや形式がございましたらご記入ください。

- ・防災関係について (2人)
- ・市民全体が参加できるようなテーマであれば何でもいい

11. この「つどい」についてのご意見、ご感想等があればなんでもお書きください。

- ・なかなか繋がらない人と繋がれて良かった
- ・自分の周りだけに目を配らないようにする
- ・ファッションショーと防災のつながりがよくわからない
- ・少し遅れたため、式次第など入場で配布しないとわからなかった
- ・今の形式でよい
- ・いろんな視点でのよいテーマをお願いしたい
- ・案内が徹底されていないので、参加者が片寄っており、人数が少ない
- ・盛り上がりにかける
- ・交流を通して新たな行動指針が見えた
- ・定期的に続けてほしい

ご協力ありがとうございました。

つながろう すべてを越えて

その時 あなたは どう動く?!

第21回 いきいき市民のつどい

平成31年1月26日(土) 13:30~15:30

産業会館

参加無料

当日めにゅー

1部 発表

- ★産業高校
デザインシステム科
- ★城北地区市民協議会
- ★北中学校

2部 茶話会



いつ起こるかもしれない自然災害、
「あなたなら、どう動くか」考えてみませんか。
みんなで学んで、交流の場で語り合しましょう。

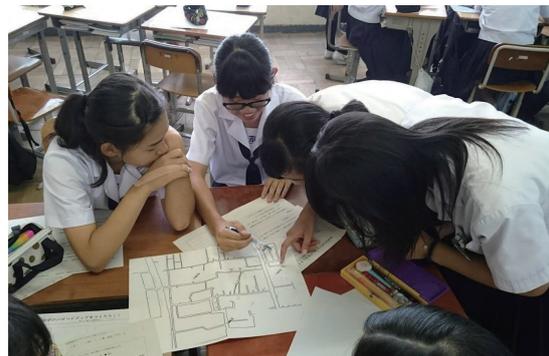
産業高校デザインシステム科

企画から舞台演出・衣装制作、モデル等すべて
生徒が作り上げた文化祭ファッションショーの
取組みを発表!! 衣装展示もお楽しみに♪



城北地区市民協議会

防災部会会長兼春木旭町町会長 小林 琢さん
防災部会兼福祉委員会事務局 尾崎 敏子さん
中学生も参加した避難訓練の取組みを発表!!
防災部会長が災害経験・今後の展望を語ります。



北中学校

地域の人や要援助者の意見も聞き、全校生徒で
防災マップづくり。
避難訓練の取組み等を発表!!

申込み・問合せ先：生涯学習課（電話：423-9616）詳しくは裏面をご覧ください！

主催：岸和田市・岸和田市教育委員会

企画・運営：岸和田市生涯学習推進本部

平成30年度 第21回 いきいき市民のつどい
つながろう すべてを越えて ～その時 あなたは どう動く?!～

日時：平成31年1月26日（土）午後1時30分～3時30分

場所：市立産業会館（別所町3丁目13-26）

参加者 105名 保育なし

手話通訳者2名・要約筆記申込なし

文字通訳者4名（大阪ろうあ会館）



第21回 いきいき市民のつどい 記録集

発行・編集：岸和田市教育委員会生涯学習部生涯学習課

所在地：〒596-0072

大阪府岸和田市堺町1番1号 岸和田市立公民館内

電話 072-423-9616(直通)

発行年月：平成31年3月



岸和田市生涯学習推進本部は、生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設けられ、委員は次の各団体から選出されています。

岸和田市PTA協議会、岸和田市こども会育成連絡協議会、岸和田市文化協会、
岸和田市体育協会、岸和田市社会福祉協議会、岸和田市民生委員児童委員協議会、
岸和田障害者・児関係団体連絡協議会、岸和田女性会議、岸和田市医師会、
岸和田商工会議所、岸和田市町会連合会、岸和田市中学校校長会、学識経験者、
岸和田市、岸和田市教育委員会（順不同）